

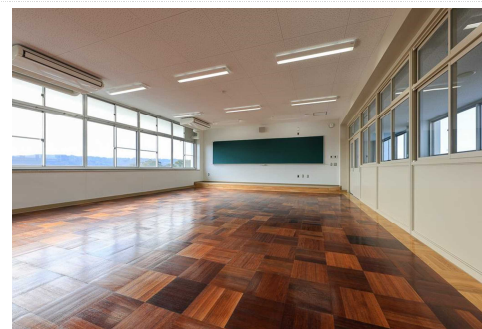
部長表彰 優良工事

建築工事課

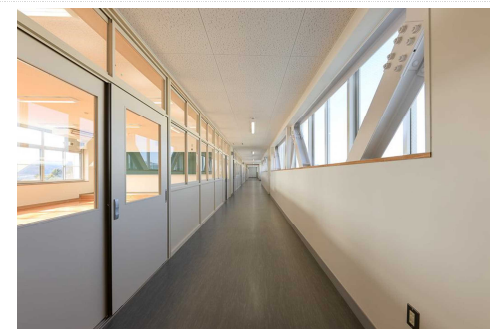
工 事 名	令和5年度 島田高等学校管理教室棟耐震補強他工事（建築）
工 期	令和5年10月14日 ～ 令和7年2月12日
工事概要	管理教室棟 RC造 4階建 延床面積 3,127㎡（耐震補強・改修） 特別教室棟 RC造 4階建 延床面積 3,325㎡（耐震補強・改修） 昇降棟 S造 2階建 延床面積 647㎡（改修） 図書館棟 RC造 2階建 延床面積 444㎡（改修） 上記に係る改修工事一式（電気・機械設備工事は別途。）
受 注 者	大河原建設株式会社
技術者名	監理技術者 伊藤 大我
表彰理由	本工事は、島田高等学校校舎等の老朽化に伴い、耐震補強及び内装を全面的に改修する工事である。 本工事では、改修箇所や改修方法について、内装材を撤去しないと判断できない部分があり、工事着手後、既存状況の詳細な調査が必要であった。 そのため、受注者は内装解体工事と併行して既存の状況を詳細に調査し、調査結果を、分かりやすく室ごとに取りまとめるとともに、改修が必要な箇所については、状況に応じた改修方法を提案し、実施するなど、積極的な品質向上を図った。 また、隣接した既存校舎では、授業や学校行事が運営されており、生徒等の安全確保と騒音、振動への配慮が必要であった。 そのため、定期的な工事定例会に加え、日常的に学校管理者と意思疎通を図り、学校行事を把握し、騒音・振動が発生する工程については、事前説明を行うとともに、行事等に支障が生じそうな場合には工程を見直すなど柔軟に対応した。 このように、本工事は、良好な施工とともに、品質の向上や工程管理、安全対策において優れた技術力・指導力を発揮した。



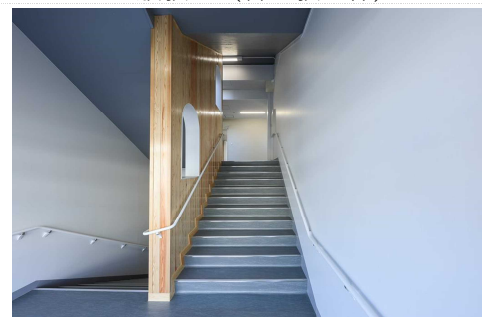
外観



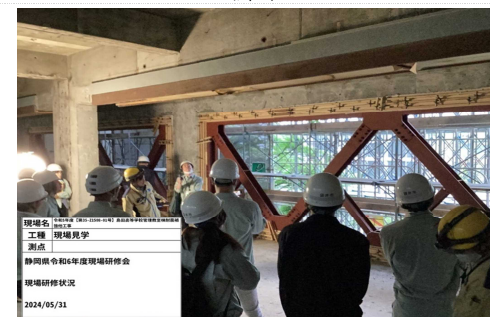
一般教室（管理教室棟）



廊下



階段



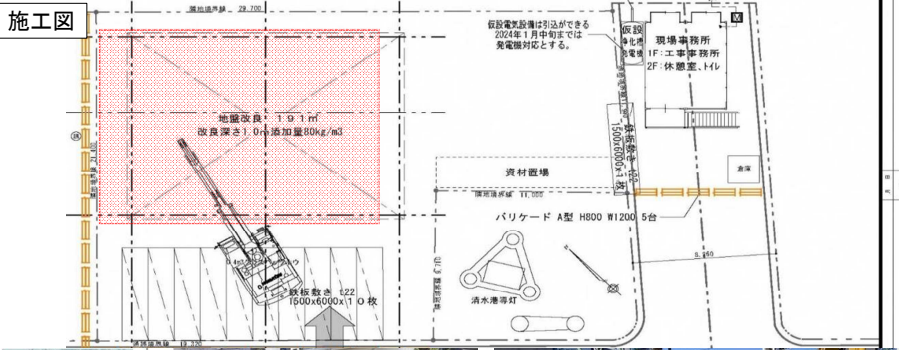
現場見学会

部長表彰 優良工事

建築工事課

工 事 名	令和5年度 清水港富士見受変電棟新築工事
工 期	令和5年9月29日 ～ 令和7年5月29日
工事概要	富士見受変電棟 鉄骨造 2階建 延床面積 387.5㎡ 上記建物の建築工事一式（電気・機械設備工事含む）
受 注 者	静鉄建設株式会社
技術者名	監理技術者 長島 浩司
表彰理由	本工事は、清水港内にある既設受変電棟の老朽化に伴う建替工事である。 建設地では、運輸関係の大型コンテナ車両が常に往来していることから、本工事に係る資材運搬や作業車両の搬出入について配慮が必要であった。 そのため、受注者は、港を管理する清水港管理局や、管理局が同時期に発注、施工している受変電棟設備工事の関係者に対して、資材の搬出入を行う1ヶ月前に仮設計画図を提示し、計画的に工程を調整した。 また、建設地は埋立地で地盤が悪いことから、杭を打設する重機設置箇所の安全性確保のため、通常の鉄板敷養生に加え、地盤改良を行い、重機の転倒防止対策を実施した。 さらに、海が近く風も強いことから、建物外部で雨水や海水の浸入が懸念されるアルミ庇と外壁の取り合い部分に水切り金物を設置し、二重に防水シールを施工するなど、外部からの漏水対策を実施し品質の向上を図った。 このように、本工事は、良好な施工とともに、工程管理、安全対策及び品質向上において優れた技術力・指導力を発揮した。

施工図



地盤改良 10.1㎡
改良深さ1.0m 追加量80kg/m3

仮設電圧設備は対応できる
2024年1月中旬までは
発電機対応とする。

仮設事務所
1F:工事事務所
2F:休憩室、トイレ

資材置場

バリケード A型 H800 W1200 5台

清水港導灯



地盤改良施工状況

地盤改良



アルミ庇周りシーリング
施工状況

アルミ庇水切り
取付完了

アルミ底部二重シール



外観

部長表彰 優良工事

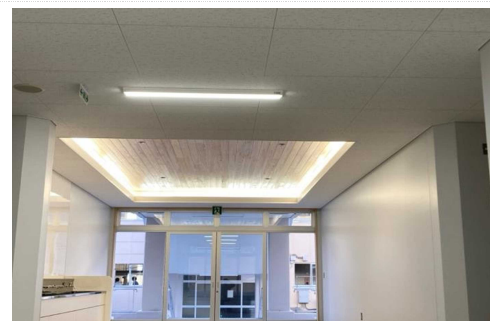
設備課

工 事 名	令和5年度 富士宮北高等学校普通教室棟新築他工事（電気設備）
工 期	令和5年11月2日 ～ 令和7年2月14日
工 事 概 要	普通教室棟（新築）：鉄骨造3階建 延床面積 2,491㎡ 渡り廊下B（新築）：鉄骨造2階建 延床面積 32㎡ 美術教室棟（改修）：鉄骨造1階建 延床面積 328㎡ 西昇降所棟（改修）：鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 477㎡ 管理教室棟（改修）：鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 2,589㎡ グランド照明盤更新工事（改修）：屋外 上記に係る電気設備工事一式
受 注 者	小林電気工業株式会社
技 術 者 名	監理技術者 石渡 弘樹

表彰理由	本工事は、富士宮北高等学校の普通教室棟新築に伴う電気設備工事である。本工事は、敷地内既存施設を利用しながらの工事であったため、学校運営への影響が最小限になるよう配慮が必要で、工程的な制約が特に厳しい中、限られた工期で確実に工事を完成させる必要があった。 受注者は、敷地内既存施設にて授業を行っているため、作業動線、屋外の作業スペース、騒音等の制約が多い中、施設管理者及び工事関係者と綿密に工程調整を行い、工期内に遅滞なく工事を完成させた。 また、配管設置に伴う掘削工事において、地中レーダー探査を使用して既存埋設配管の調査を実施することで、事故なく工事を行うとともに、各 EPS 内に配線図を掲示して回路の見える化を行い、完成後の維持管理性の向上に寄与するなど、工事期間を通して提案や工夫をもって施工管理を行った。 このように、本工事は良好な施工を行うとともに、工程管理や安全対策において優れた技術力・指導力を発揮した。



外観



1F 生徒ホール照明



キュービクル



地中レーダー探査



EPS 内に配線図を掲示

部長表彰 優良工事

設備課

工 事 名	令和5年度 清水西高等学校特別教室棟新築工事（機械設備）
工 期	令和5年10月26日 ～ 令和7年2月14日
工事概要	特別教室棟 鉄骨造 4階建 延床面積 4,759㎡ 渡り廊下1 鉄骨造 平屋建 延床面積 61㎡ 上記に係る機械設備工事一式
受 注 者	株式会社大和工機
技術者名	監理技術者 水村 光佑

表彰理由

本工事は、清水西高等学校特別教室棟建替工事に伴う機械設備工事である。

本工事は、利用している管理棟と近接するため、特別教室棟の新築と既存設備との接続等について、学校運営や利用者の安全確保に配慮が必要な工事であった。

受注者は、デジタル測定器を用いて正確な風量試験などを実施し、また3次元CADによる他工事との納まりの検討を行うなど、デジタル技術を用いて他工事の施工者と協力しながら品質の高い工事を実現した。

さらに、掘削工事前の地中レーダー探査の実施による事故防止、イラスト入りハザードマップの作成による安全啓発、消防署を招いた防火訓練の実施、モーションセンサー付監視カメラとスマートフォンによる監視など、安全管理に対する取組が顕著であった。

このように、本工事は、良好な施工を行うとともに、品質向上や安全対策において優れた技術力・指導力を発揮した。

写

真

令和5年度 清水西高等学校特別教室棟新築工事（機械設備）



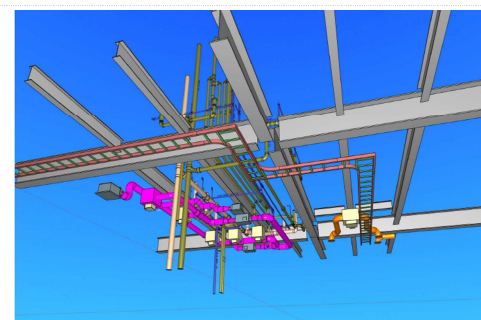
特別教室棟北面（受水槽・設備スペース）



バリアフリースイレ



ポンプ室



3次元CAD



イラスト入りハザードマップ

部長表彰 優良工事

浜松土木事務所建築住宅課

工 事 名	令和4年度 県営住宅南平団地A棟建替事業（機械設備）工事
工 期	令和5年3月14日 ～ 令和6年6月28日
工事概要	県営住宅南平団地A棟 ・住 棟：鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積3,045.26㎡、50戸 ・外構工事 上記に関する機械設備一式工事
受 注 者	株式会社刑部工業所
技術者名	監理技術者 丸山 隆征
表彰理由	本工事は、「静岡県営住宅再生計画」に基づき実施した南平団地A棟建替事業における機械設備工事であり、関連工事が多く、入居時期が定められ、工期が約15ヶ月に渡るなど、施工にあたり高い技術力を要するものであった。 本施工者は、関連工事と綿密に連携しつつ、機材の品質管理や施工にあたり、設計図書を満足していることが確認できる承諾図やカタログを丁寧に分かりやすく整理して、工事全般にわたって適正かつ、きめ細やかに行った。 さらに、<u>施工に先立ち、3次元C A Dを用いたP S内配管の立体図を現場に掲示することや、さや管ヘッダー工法のメーカー講習会を現地開催するなど、作業の見える化や正しい知識の習得を実践し、さらなる品質向上を図った。</u> こうした取り組みなどにより、事故なく、入居時期に間に合うよう高い品質で本工事を完成させた。 このように、本工事は、良好な施工を行うとともに、品質向上や安全対策において優れた技術力・指導力を発揮した。



外観



増圧給水ポンプ



PS内 3次元 CAD



さや管ヘッダー工法メーカー講習会



PS内 現場施工

部長表彰 優良技術者

浜松土木事務所建築住宅課

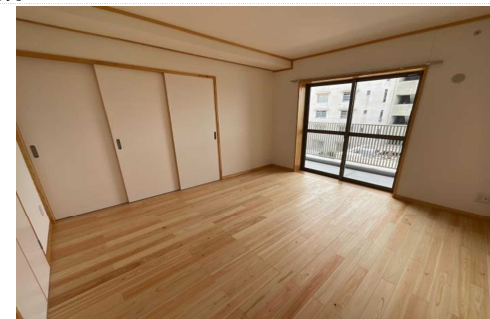
工 事 名	令和4年度 県営住宅南平団地A棟建替事業（建築）工事
工 期	令和5年3月11日 ～ 令和6年6月28日
工事概要	県営住宅南平団地A棟 ・住 棟：鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積3,045.26㎡、50戸 ・駐輪場：アルミ造平屋建て×2棟、延べ面積合計106.56㎡ ・外構工事 上記に関する建築一式工事
受 注 者	株式会社浜建
技術者名	監理技術者 伊藤 隆治
表彰理由	本工事は、「静岡県営住宅再生計画」に基づき実施した南平団地A棟建替事業における建築工事であり、関連工事が多く、入居時期が定められ、工期が約15ヶ月に渡るなど、施工にあたり高い技術力を要するものであった。 こうした中、本工事の技術者は、契約図書と現場の照査や出来形や品質に係る管理等を適切に行い、<u>コンクリートの強度試験を第三者にて実施し公平性を確保した品質管理を実施するとともに、既測量データを活用した座標管理による位置だし作業や、大型モニターを使用しペーパーレスによる会議を実施するなど、デジタル技術を活用して良好な施工に努めた。</u> また、安全管理意識が高く、作業員が安全に施工できる環境づくりのため、現場内の埋設配管の位置を作業員が容易に認識できるよう、<u>埋設配管位置図を見やすい場所に掲示し、埋設配管等の事故防止に努めた。</u> さらに、杭施工のために実施する<u>地盤改良の固化材に粉じん抑制型を使用したり、発電機を使用する際に防音仕様のBOXにより囲いを設け騒音レベルを下げるなど、周辺へ配慮した施工を行うとともに、長期休暇前の清掃活動や地域のボランティア活動に参加するなど、地域貢献活動も積極的に実施した。</u> このように、本工事は、良好な施工を行うとともに、品質向上や安全対策、周辺環境への配慮において優れた技術力・指導力を発揮した。



外観



内装（3LDK）



内装（3LDK）



仮囲いへの埋設配管位置図の掲示



座標管理による位置だし

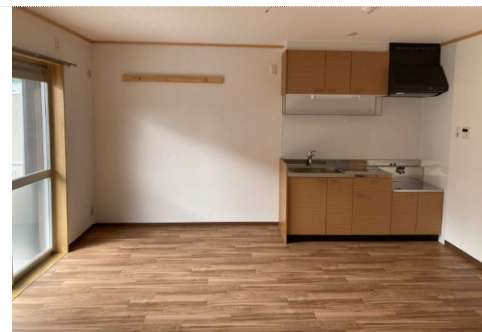
部長表彰 優良技術者

静岡土木事務所建築住宅課

工 事 名	令和4年度 県営住宅駒越団地1号棟建替事業（建築）工事
工 期	令和5年3月11日 ～ 令和6年9月30日
工事概要	県営住宅駒越団地1号棟 ・ 住 棟：鉄筋コンクリート造4階建、延べ床面積3,047.25㎡（52戸） ・ 駐輪場：鉄骨造平屋建て（4棟）、延べ床面積合計84.02㎡ ・ 外構工事 上記に関する建築一式工事
受 注 者	第一建設株式会社
技術者名	監理技術者 綾部 元章
表彰理由	本工事は、県営住宅駒越団地の既存住棟を解体した跡地に新築する1号棟（52戸）の建築工事（駐輪場及び外構工事含む。）である。 本工事の技術者は、関連する各工事の工程表をとりまとめ、各工事の工程を記載した週間工程を作成することにより各工事の責任者にフィードバックし、全体工程の調整を行うことで、最大限効率的な作業計画を遂行した。 また、本工事の躯体は段差が多く、溜まった雨水により造作工事への影響が懸念されたため、躯体に予め配管し、工事中に雨水排水ドレンとして利用し、使用後はモルタル充填により閉塞し、下階の浸水を防いだ。 さらに、コンクリートの品質管理において、施工範囲を分割し、各ロットごとに施工計画及び品質管理を行うことで、品質管理内容をより明確化した。 安全管理においては、現場作業員に安全作業の徹底を促すとともに、各居室ごとにハザードマップを掲示するなど、事故防止のための努力が顕著である。特に熱中症対策では、暑さ指数であるWBGTの測定器の作業員への貸与およびドライミストの設置、アイスキャンデーによる体温冷却など複数の対策を複合的に実施した。 このように、本技術者は、良好な施工を行うとともに、品質向上や安全対策において優れた技術力・指導力を発揮した。



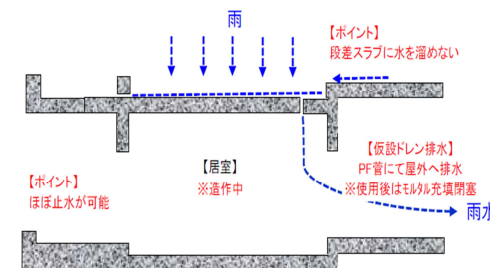
外観



内装（3DK）



内装（車椅子住戸2DK）



仮設水抜きパイプの設置

部長表彰 地域貢献

建築工事課

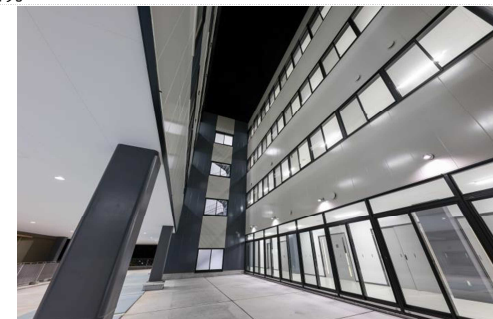
工 事 名	令和4年度 藤枝東高等学校管理教室棟新築工事（建築）
工 期	令和4年10月15日 ～ 令和6年5月1日
工事概要	管理教室棟 鉄骨造 5階建 延床面積5,317㎡ 上記に係る建築工事一式（外構工事を含む。電気・機械設備工事は別途。）
受 注 者	株式会社山田組
技術者名	監理技術者 小林 兼尚
表彰理由	本工事は、藤枝東高等学校の普通教室棟の老朽化に伴い、新校舎を建築したものである。 受注者は、隣接した校舎や体育館で学校運営が行われている中での工事のため、騒音対策として、仮囲い上部に防音シート設置したほか、建築物の耐久性向上のため、コンクリート打継部から水が浸入し品質が低下しないよう防水材料を塗布した。 また、建設業界は人材不足であり、特に若者不足が大きな問題となっていることから、建設業界のイメージアップのため、在校生を対象とした工事現場見学会を開催し、めったに見ることができない工事現場を見てもらうとともに、物づくりが好きで建築に関わる仕事に就いた体験談や、地図に載る建築の仕事を誇りに思っていることなど、現場技術者が直接高校生に説明する機会を設けた。 さらに、大規模な鉄骨工事の現場を見る機会が少ない自治体建築職員のため、本工事を利用した県や市町の建築関係職員対象の現場研修会に協力し、知識及び技術力向上に寄与した。 加えて、本校は住宅地に立地しているため、計画建物周辺に使用する土の改良材に発塵を抑制する材料を使用したり、敷地内には樹木が多く周辺への落葉が多いことから、学校敷地周辺の側溝の清掃など清掃美化活動を行うことで、地域とのよりよいコミュニケーションを図った。 このように、本工事は、良好な施工を行うだけでなく、建設業界の担い手確保や地域貢献に積極的に取組んだ。



外観



内装（一般教室）



吹抜け



在校生向け現場見学会



自治体建築関係職員向け現場研修